

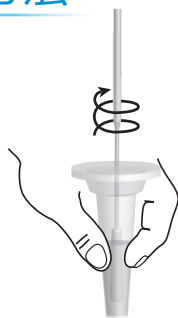
ご使用前に必ず添付文書をお読みください。

イムノファイン™ FLU II

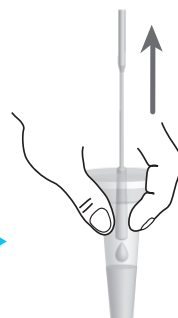
【操作方法】 テストプレートおよび抽出液入りスクイズチューブは15~30℃に戻してからご使用ください。

検体の調製方法

シールをはがします。



検体を採取した綿棒の綿球部を速やかに抽出液に浸し、スクイズチューブを押さえ、綿球部をはさみ付けるように10回以上回転させます。



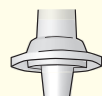
綿球部を強めにはさみ込みながら液体をしぼり出した後、綿棒をスクイズチューブに沿ってまっすぐ抜き取ります。



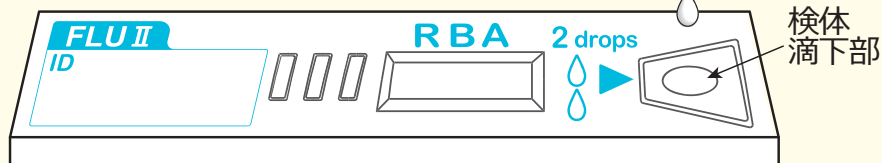
キット付属のフィルターチップを、スクイズチューブにしっかり取り付けます。

測定法

スクイズチューブの検体抽出液を、テストプレートの検体滴下部に2滴、滴下します。フィルターチップが検体滴下部に触れないように、垂直に滴下してください。



2滴



※判定部 A、B、R のラインの出現の有無を目視にて確認してください。詳細は、添付文書内の「測定結果の判定法」を参照してください。

判定

~5分

陽性判定



A型陽性



B型陽性

5分

陰性判定



陰性

再検査



(1) 判定部 A あるいは判定部 B、またはその両方に紫色のラインなど指定色以外のラインが認められる場合。



(2) 検体抽出液を滴下してから5分以内に判定部 R にラインが認められない場合。

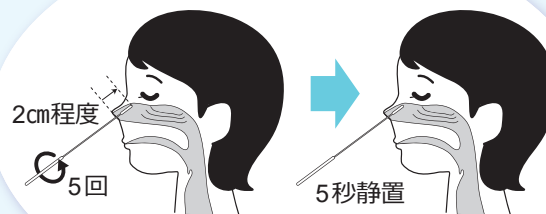
【検体採取方法】

鼻咽頭ぬぐい液



滅菌綿棒(鼻腔用・鼻咽頭用)を外鼻孔から鼻腔内にしっかり挿入し、鼻甲介を数回擦るようして粘膜表皮を採取します。
軸に力をかけて強く擦ったり、無理に回転させたりしないでください。
滅菌綿棒の先を鼻腔に無理にこすりつける必要はありません。

鼻腔ぬぐい液



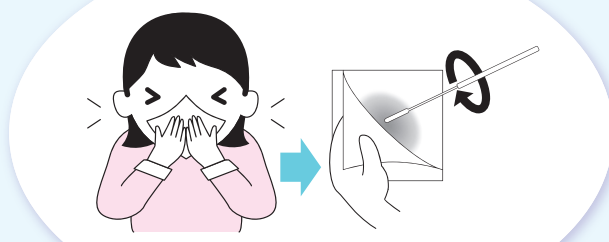
滅菌綿棒(鼻腔用・鼻咽頭用)を鼻腔に沿って2cm程度挿入し、ゆっくり5回程度回転させ5秒程度静置します。
患者自身が採取する場合は、鼻出血が起こりやすい部位である点にも配慮し、医療従事者の管理下で実施してください。

鼻腔吸引液



吸引トラップの一方のチューブを吸引ポンプにつなぎ、他方のチューブを鼻腔内にしっかり挿入します。吸引ポンプを動作させ、鼻腔液を吸引トラップに採取します。
採取された鼻腔液の粘度が高い部分や固形成分を避けて、滅菌綿棒(鼻腔用・鼻咽頭用)を浸します。

鼻汁鼻かみ液



鼻かみシートもしくは検体採取用シートを用い、患者に鼻をかんでもらいます。
採取された鼻汁鼻かみ液の粘度が高い部分や固形成分を避けて、滅菌綿棒(鼻腔用・鼻咽頭用)を浸します。

咽頭ぬぐい液



咽頭後部、扁桃、その他炎症部分を、咽頭用綿棒で擦って咽頭粘液を採取します。綿棒が舌、ほほ、歯に触れないように注意してください。